

大田市立大田幼稚園PTAの実践

1 大田市立大田幼稚園PTAの特徴

幼稚園教育に期待が高く、子ども達に楽しい経験をさせたいという思いから、園の行事やPTA活動にとっても協力的である。核家族が園全体の9割を占め、地域とかかわる機会が乏しく子育てに悩みを抱えている保護者も増えてきている。

2 特色ある取組

(1) 取組の概要(ねらい)

- ①様々な行事や活動を通して、幼児期における人権教育の考え方や取組について理解を深め、PTA会員一人一人の人権意識の高揚を図る。
- ②親子活動を積極的に取り入れ、共に生活する周りの人を大切に思う気持ちを育て、互いに認め合ったり支え合ったりすることができる組織を構築する。

(2) 取組の詳細

①親子で演劇鑑賞会『みにくいアヒルの子』

ア ねらい ・「見た目だけで判断しない」「自分を大切にする」「他者を思いやる心の大切さ」を感じ取り、心の成長につなげる。

イ 期 日 令和7年5月12日(月)

ウ 会 場 大田幼稚園

エ 内 容 親子で着ぐるみ人形劇『みにくいアヒルの子』を鑑賞した。映像では味わえない、生の感動あふれる演劇を観る体験を共有できた。



[保護者の感想より]

- ・劇団の方の言葉「みんなと違って自分の好きなことを頑張るやろう」を聞き、楽しかった劇もそういう深い意味があったことに気づき、子ども達の気持ちも大きく成長したのだらうと思いました。
- ・数十年ぶりに自分の子どもと改めて見ることができ感慨深いものがありました。子どもはまだ幼く、内容の全てを理解していないと思いますが、迫力あるセットと着ぐるみによる演劇はとても心に残ったのではないかと思います。

②ストーリーテリング&夏祭り

ア ねらい ・心温まる物語や穏やかな語り声により、心の安定を図る。親子で共有することで、コミュニケーションの時間を作る。

・園と保護者が連携し連帯感を高めたり、親子での触れ合いを深めたりする。

イ 期 日 令和7年8月29日(金)

ウ 会 場 大田幼稚園

エ 内 容 園で子ども達が経験している「ストーリーテリング」を保護者と一緒に聴いた。

職員と保護者がお店屋さんになり、親子で触れ合いながら夏祭りを楽しんだ。



ストーリーテリング



魚つり屋さん



アイスクリームどうぞ!

③親子ふれあい遊び&子育て講演会

- ア ねらい ・ふれあい遊びを通して、信頼関係を強め、より良い親子関係を築く。
・幼児教育専門家の方の講演を通して、子育ての大切さについて学び、考える。

イ 期 日 令和7年10月21日(火)

ウ 会 場 大田幼稚園

エ 内 容 幼児教育専門家の熊丸みつ子さんより、身近な素材を使って親子でふれあい遊びをした後、保護者を対象として子育てについて講演会を行った。



[保護者の感想より](一部抜粋)

- ・日々これでいいのだろうかと思うこともあり、不安になったりしますが、今回のお話を聞いて心が軽くなりました。
- ・子どもの事、親の事をとても親身になって考えてくださり、胸がとてもあたたかくなりました。
- ・今はまだ一人目の育児中で、まさに周り比べてしまいがちでした。比べなくてもいいと分かっているけど、心配でつい他のお子さんを見てしまいますが、「その子らしくていい」と改められることができました。

④みんなで作った遊び展&バザー

- ア ねらい ・子ども達の作品展示を見て、一人一人の取組や頑張りを共有する。
・親子で楽しめる遊びコーナーに参加し、触れ合いを楽しむ。

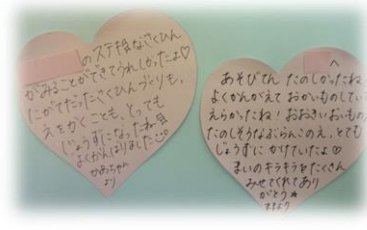
イ 期 日 令和7年11月9日(日)

ウ 会 場 大田幼稚園

エ 内 容 園児の作品や作品作りの取組から「キラキラハート」(頑張っているところやステキなところ等)を見つけて♡に書いてもらい紹介することで、子どもの自己肯定感を高める。遊びのコーナーに親子で参加し楽しむ。



ステキな作品いっぱいだね!



キラキラハートより

(3) 取組を終えて(成果と課題)

- ・園の行事に合わせて、親子で一緒に取り組む活動を積極的に取り入れてきた。触れ合う活動を通して親子のコミュニケーションをとり、信頼関係を深めることができた。子どもの情緒の安定を図ったり自己肯定感を高めたりすることに繋がったと考える。
- ・保護者が子どもとの活動を通してその子どもなりの思いや考えに触れ、一人一人のよさや大切さなどを感じることで子ども理解に繋がった。また、大人も子どもも周りの人を大切に思い互いに認め合う気持ちを持てるようになったり、保護者同士の親睦を深めたりして連帯感も深まった。
- ・幼児教育専門家の方の講演会は、保護者の心を掴み、子育てのヒントになるお話で、感想から家庭での子どもに対する接し方も意識している様子が伺えた。保護者啓発には、講演会等が有効であるため、今後はその他の様々な人権課題についても機会を計画していきたい。
- ・今年度は園行事と合わせた親子活動を中心に取組んできた。今後は、地域との連携、発信等も進めていき、人権意識の向上に向けて工夫しながら取り組んでいきたい。